

2024年6月21日

フランクリン・テンプレトンによる 2024 年下期の投資環境見通し 明るさが増す日米の展望

米国の大手資産運用会社であるフランクリン・テンプレトンの日本拠点であるフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社は、本日、2024 年中期市場見通しを発表致しました。最新のレポートでは、米国をはじめとする主要国の経済成長が鈍化する中で、日本経済が発揮している回復力に注目しています。

フランクリン・テンプレトンは東京で開催されたメディア説明会で、日本株について、過去 10 年間継続して米国株よりも割安に評価されており、投資家に魅力的な機会をもたらしていると説明しました。

フランクリン・テンプレトン・インスティテュートの投資ストラテジスト、クリスティ・タンは次のように述べています。「日本の見通しをポジティブに捉える理由はいくつかありますが、中でも、構造改革とコーポレート・ガバナンス改革が進むことで、株主へのリターンが増加することが見込まれます。さらに、日本株は依然として割安であり、現在のバリュエーションでは他国の株式と比べて魅力があると考えています」

日本のサービス価格の上昇が日本の経済的安定に大きく寄与しており、訪日観光客の増加がサービスインフレに拍車をかけていることが、日本の観光セクターの堅調さを示しています。さらに、日本の賃金上昇率と企業収益に正の相関があり、国内消費を潜在的に押し上げる可能性があります。しかし、賃金上昇率が過去 30 年で最も高いにもかかわらず、年初来平均 4%前後のインフレ率によって今年の実質賃金はマイナスであり、それが国内消費の足かせとなっています。今後、日本政府と日銀が目指す持続的な需要主導型インフレを実現するためには、実質賃金の伸びが不可欠です。

米国の労働市場は非常に力強いものの、個人消費の鈍化を一因に米経済は勢いを失いつつあることから、フランクリン・テンプレトンは現在、FRB による年内の利下げを 1~2 回と予想しています。一方で、日本に関しては年内 2 回の利上げが見込まれ、日本円は日米の金利差縮小を背景に円高に振れやすい状況になっています。また、円は過去の平均と比較しても、非常に割安な水準が続いています。

世界的にはインフレ率は鈍化が続くことが予想されるものの、各国中央銀行の物価目標を上回る水準に留まるでしょう。これが米国の大型株および日本とインドの株式に有利に働くと考えられます。また、債券も利下げから幅広く恩恵を受け、デフォルト率の上昇が投資適格債にプラスの影響を与えられと考えられます。

米国、日本、中国の今後2年間の成長ペースは減速するとみられますが、世界的な景気後退は避けられる見込みです。また、地政学的要素と今年予定されている米大統領選は、経済見通しのリスク要因となります。

フランクリン・テンプレトン・ジャパンの代表取締役社長 高村孝は、次のように述べています。「日本は活気ある投資環境の実現に向けて大きく前進し続けており、政府の積極的な改革への取り組みを称賛します。新NISAの導入や投資信託への記録的な資金流入は、これらの成長施策の直接的な成果です。市場の投資動向の分析からは、オルタナティブ投資への強い需要が見られます。現在は大部分が機関投資家に限られているプライベート資産がいずれ民主化され、個人投資家にも利用できるようになると考えています。フランクリン・テンプレトンは、あらゆる資産クラスにおける投資の専門知識を活用し、日本の投資家の皆様のポートフォリオの多様化と経済的な目標の達成において、強力に支援致します」

フランクリン・テンプレトンについて

フランクリン・テンプレトンは、米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置くフランクリン・リソース・インクおよび傘下の子会社で構成されたグローバルな資産運用会社グループです。当グループは75年以上の資産運用経験を持ち、世界の主要な金融市場を含む30カ国以上に拠点を構え、150カ国以上のお客様にサービスを提供しています。長い歴史の中で、数々の専門性の高い運用マネージャーを傘下に迎え、運用ケイパビリティを拡充することで、株式、債券、マルチアセット・ソリューション、オルタナティブの分野の卓越した専門性と運用戦略へのアクセスを可能にしてきました。世界中に1500人以上の運用プロフェッショナルを擁するフランクリン・テンプレトンという1つのブランドを通じて、世界中のお客様の幅広いニーズに応じたカスタマイズ・ソリューションを提供しています。2024年3月31日現在の運用総資産は約249兆円(1.6兆米ドル)です。詳しくは、<https://www.franklinresources.com/> (英語サイト)をご覧ください。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

フランクリン・テンプレトンの日本法人であるフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社は、1996年の日本進出以来、日本の投資家の皆様の資産運用ニーズに応じた運用商品やサービスを提供し、ひたむきに前進してきたことを誇りとしています。今後もフランクリン・テンプレトン・ジャパンは、グローバルな資産運用会社として、25年以上にわたる日本での事業経験から得たノウハウを活かし、日本の投資家の皆様の長期的な資産形成に貢献することを目指すとともに、お客様との長期的な信頼関係を築いてまいります。

ウェブサイト

<https://www.franklintempleton.co.jp/>

YouTube

<https://www.youtube.com/@FranklinTempletonJapan>

X (旧 Twitter)

https://twitter.com/FTI_JP

- 当資料は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また、投資勧誘を目的とするものではありません。

- 当資料は、当社が信頼性が高いと判断した各種データ等に基づいて作成したものです。その完全性、正確性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されたグラフやデータ等は、過去の実績または予測であり、将来の市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他一切の権利は、その発行者に帰属します。
- 当資料は当社の許可なく複製・転用することはできません。

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当プレスリリースに関するお問い合わせ先
フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社
03-5219-5700